



2010.4.3 復活徹の聖なる夜祭後の記念撮影

「復活おめでとう」やります

助任司祭 ナジ・エデルベルトウス

目に優しい若葉や花が沢山見えて来て感謝の心も芽生えると感じる人が沢山いると思います。春が山に來た、野に來た、南山にも來ました。元気で今年の春を迎える事は恵みです。健康にあまり恵まれないと思う人も不幸と思つてはまだ早いです。神様は見えるものだけでなく見えなくて内面の魅力的なものも復活祭によつて与えられると思います。十五人の志願者は清い心で新しく生まれました。そして私達一人一人にも成長する恵みをさらに頂くとします。神は私達より私達の事を御存じで、私達が知らない自分の中であらたに造り変えられるからです。

私達は洗礼を受けてキリストの完全な似姿に成熟する事を目指しているのです。桜は蕾を出す時期からかれる葉になるまで一年かかりますがキリスト信者は神の計らいの内にイエス様の似姿になるまで成長する時間が大分かかります。それに個人の努力が要ります。イエス様の似姿にいたるまでの旅は礼拝として信仰を表し、交わりとして信仰を証し、訓練を受ける弟子達のように忍耐と従順を身につける事を通らなければなりません。

神様は、私達が毎日少しづつ神に似た者となえられて行く事を願っておられます。そのため神に心を開き続け、教会の交わりに参加する事は大切です。古い習慣を脱ぎ捨てる事は痛みと恐れが伴いますが神は秘跡や他の

(次頁へつづく)

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第2水曜日 午後2時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday:  
9:30 am Mass in English (Maria Kan-Hall)  
第4日曜日 午後2時 ベトナム語のミサ

## 堅信の秘跡を受けて

トマス 玉田 恭彦

信者によって私達を新たな力、支えと慰めを与えてくださいます。信者は皆イエス様の似姿の成長の段階でぶつかる時もあるかもしれません。永遠の範囲に考えれば今の苦難は取るに足らないものである事を理解し大切な目的に向かって走りつづける事ができるとおもいます。

今まで自分は南山の信者の皆様と共に旅してきました。神の愛徳に皆様による神の支え、導きを体験してきました。共に送る期間は短いかもしれませんが成長するために支え合う日々は神にキチンと見守られ、記して下さいます。ダビデは神の憐れみを感じ取り次のように「私の

すべての日々が、あなたの書物に記録されました。しかも、まだ一日も立たないうちに、そのすべてが事細かく書き記されたのです。私も心から皆様に感謝を申し上げます。昨年アレルギのせいで、何も十分にできなくてすみません。どこにいても私は神のために創造され、イエス様の似姿に成長し、教会を支える任命を受ける事を忘れないように祈りたいです。神様の祝福が皆様の上にありますように。ご復活おめでとうございます。

## 音楽による黙想会に参加して

酒井 久美子

受難の主日3月28日16時より大聖堂にて行われた音楽による黙想会に参加しました。

これはハイドンが作曲した「十字架上のキリストの最後の七つの言葉」を愛知芸大の弦楽



アンサンブルの皆さんによる演奏を聴きながら、七つの言葉を順番に一つずつ、聖書の御言葉とその箇所、黙想のヒントを、南山教会の信徒の工藤さんと鈴木さんが朗読されるのを聞きました。祭壇にはプロジェクターで七つの言葉と場面も映されました。黙想のヒントは主任司祭のボクダン神父様が準備されたもので、私たちをそれぞれの御言葉への祈りと黙想に導いてくれました。最後の七つの言葉は今までも何度も聞いたはずなのに今回の黙想会に参加して、七つの言葉がすべて深く関連して私たちに語りかけていることに、気がつくことができました。たとえばイエス様はその中で、「父よ」と呼びかけられる時と「わが神」と呼びかけられている違いにも気がつきました。

また、このハイドンの曲がスペインの教会の依頼により四旬節の儀式のために作曲されたものでしたので、より深い感銘を得られました。

黙想会の案内が毎日新聞に出たことにより、初めて教会に来られた方も何人もおられ約二百人の方が参加されました。

## ニコ師着任の挨拶



春が訪れて来て、桜満開の大  
自然の中で、主の復活を祝う私  
たちは何て幸せだろうと思いま  
す。この二つの驚き、大喜びな  
のではないのでしょうか。咲いて  
いる桜の花と復活の喜びに溢れ  
て心が明るくなるのではないで  
しょうか。

さてその大喜びと共に、私は  
今年4月から助任司祭として南  
山教会に任命されました。それ  
では自己紹介をさせていただけ  
きたいと思えます。ニコラス・  
コンデイと申します。いつも  
「ニコ」と呼ばれています。が、  
「ニコニコ」と呼んでいる人も  
います。出身はインドネシアの  
フロレス島です。趣味はバド  
ミントンとサッカーをすること

です。

二〇〇四年七月に日本に來ま  
した。そして、2年間ぐらい南  
山大学の別科という日本語学校  
で日本の文化を学びながら日本  
語を勉強しました。言語の勉強  
が終わって、半年間ぐらい長崎  
の西町教会で司牧体験をさせて  
いただきました。また司祭の道  
を目指して、二〇〇七年から二  
〇〇九年まで名古屋の神言神学  
院で神言会の神学生の養成を受  
けながら、南山大学で神学を勉  
強しました。

日本に來るといふことは全然  
思っていませんでしたが、日本  
に來て、今年6年経って、皆様  
に出会うことになって、「日本  
に來て、よかつた」と改めて感  
じております。

神の恵みによって、また皆様  
のお祈りと支えと共に、二〇〇  
九年十月十日に南山教会で司祭  
叙階を迎えることが出来まし  
た。私にとって、この司祭叙階  
は神の賜物です。この賜物を頂  
いた私は神様に感謝します。  
これから、南山教会で助任司祭  
として勤めますが、どうか皆様  
のお祈り、ご支援またご協力を  
お願いいたします。

## 子供部屋

子供部屋では、「子供のための  
ミサ」を神父様にあげて頂き、保  
護者はこのごミサの後で分かち合  
いをしています。

0歳から就学前という子供達  
は、ごミサの中でじっとしてい  
られず、泣いたり、声をあげたり、  
時には眠ってしまうこともありま  
す。ごミサの中で行われている事  
の意味を大きな声で問いかけた  
り、神父様の真似をしたり、元氣  
に賛美歌を歌い、お祈りを唱え  
たりもします。

その子なりのあり方で、神様に  
近づき、信仰の心の土を耕し、根  
を伸ばしていくのが感じられま  
す。ありのままの姿を受け入れら  
れた体験は、何にもかえがたいも  
のとなるに違いありません。  
神父様を囲んでの分かち合いで  
は、保護者として、また、神様の  
前に1人の子供として、福音を通  
じて様々な事を分かち合う中で、  
交流を深め、多くの恵みを頂きま  
す。

近年、参加人数が徐々に減り、  
曜日によっては参加できる方もお  
ありかと、今年度は実施日を土曜  
日へ変更いたしました。  
受洗、未受洗に関わらず、多く  
の皆様のご参加をお待ちしていま  
す。

## \*毎月第3土曜日、10:30から マリア館の和室にてミサ

その後保護者は神父様から聖書のお話しなどを聞  
きます。その間、お子様はお手伝いの方々が遊ん  
でくださいます。お友達や、ご兄弟の参加も歓迎  
です。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

## 2010年度日程

4月17日、5月15日、6月19日、7月17日、  
9月18日、10月16日、11月20日、12月18日、  
1月15日、2月19日、3月19日 \*8月はお休み



\*写真は数年前のもので、  
現在では人数がもっと減ってしまいました。  
皆様のご参加を心よりお待ちしております!!

# 愛と苦しみ (その15)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

4 どうして、こんなに多くの人々が最後まで愛していないのでしょうか。

える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」  
ヨハ 13・34

発展させなければなりません。

参照…マタ5・45〜48、ルカ6・35〜36

今まで見てきた様に、愛することとはどんな状況においても可能であるということ、イエスが自分自身の生活を以って示してくださいました。イエスは、またそのような愛の源やこの愛に忠実に生きるために必要な力の源をも教えてくださいました。しかし、わたしたち自身がこの泉から汲んで、イエスと同じように愛を生きるようになるためには、先ずこの泉に近づくのを妨げるものを知り、それを取り除く必要があります。まず一つ基本的で私達が陥りやすい妨げというのは、自分自身の愛する能力を否定するということなのです。

## 4・1 人間の愛する能力

「あなたがたに新しい掟を与

福音記者ヨハネが教えているように、「万物は言によつて成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった」(ヨハ1:3)のです。イエ・キリストは「肉」つまり真の人間になったこの「言」(ヨハ1:14)です。イエスこそが誰よりも人間のことを知っているし、誰よりもわたしたちの善、わたしたちの幸福を求めておられる方であるということには確かです。それ故、イエスがわたしたちに、何かを要求されるならば、それはわたしたちにとつて善いものであり、それから、たとえそれがわたしたちに無理であるように見えても、実際に可能なものであるという確信を持つことができます。その

イエスの最も難しい要求、と同時に最も肝心な要求というのは、イエスが愛したように愛すること、しかもわたしたちはこの愛において、神ご自身が完全とおられるように完全になるということなのです。この要求、またはすべての人に対するイエスのこの希望は、わたしたちの最高の能力を現しています。すなわち、例外なくすべての人々には、イエスが愛したように愛する能力があるということになります。そして、わたしたちの愛は、神ご自身の愛のようには、非常に信じがたいです。それは、非常に信じがたいものであるでしょうが、イエスを信じるといふのは、イエスが

4・2 神から出る愛に生きる

「愛する者たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。」  
1ヨハ 4:7〜8

すべての人々は愛する無限の能力を持っているにもかかわらず、大部分の人々はこの能力を非常に限られた程度しか実現していないし、非常に多くの人は、この可能性をまったく無駄にしてしまうようです。いろ

いろいろな人間関係や人間が造った世界の現状を見れば、人間には愛することができるといふことではありません。どうして、このように起こっているのか、どうして、わたしたちの最もすぐれた能力を実現できないのか。

福音記者聖ヨハネが教えているように愛は神から出るもので、神がくださる賜物です。人間は、自分の最も優れた能力を実現するために、神に心を開いて、神がくださる愛を受け入れなければなりません。実はこの賜物を受け入れることは、神ご自身を受け入れることなのです。なぜなら、神は愛である(ヨハ4:8〜16)からです。この教えが正しければ、神を信じている人は、神を信じていない人よりも愛するはずであると考

知っておいた方がいいと思いませんか。聖書において神を信じるという事は、ただ神の存在を認めただけではなく、神を知るこ

と繋がることなのです。聖ヨハネが教えている通りに、誰かが神を知っているかどうかという事は、この人の言葉ではなく、この人の行いによって表れるものです。すなわち、誰かが神を本当に信じているかという事が分かるために、この人の言葉

を聞くよりも、この人の行いを見ることによって、こも神の偽りの像や、神に心を開いて、神がくださる愛を受けなければならぬという事

を分かります。聖ヨハネはつきり言を受けているという事が分かるは、神ご自身を受け入れること

「彼(イエス・キリリ)が、真の信仰の最も確実な

「真の顔」を隠す神の偽りの像のもう一つの由来があり得ます。それは、自分の体験、

「神を愛して」は、偽り者である。現に見ていた人の助けとなるはずで

参照…1ヨハ1:4

(つづく)

## 四旬節から復活祭までの写真記録より



品田神父様による黙想会



十字架の道行きの祈り



枝の主日



枝の行列



復活の聖なる徹夜祭



復活の聖なる徹夜祭



洗礼式



ご復活をお祝いするパーティー

カブ・ビーバー  
盲導犬募金で活躍

伊藤 宗太郎

97 団のカブ、ビーバースカウトとリーダー、隊長含めて10名が盲導犬募金に参加した。彼岸の中日である春分の日3月21日、東本願寺別院山門で募金箱をかかえて、かわいい声を張り上げた。「盲導犬募金にご協力下さい」と。

お彼岸で寺参りのお年寄りの方々が多く、こぞつて子どもたちの募金箱にお金を入れていただいた。お孫ちゃんを慈しむように、目を細めて見守って下さる人々もいた。

当日は晴れていたが、寒風がピューピューと吹き、冷たかった。それでも三萬余円のお金が集まった。朝は東別院まで歩いて来たが、ついでに途中の道でゴミ拾いも行った。最後には分別までして、環境エコに協力した。「偉い」と大いに誉められた。

午前11時から12時までの活動だったが、少々くたびれた！帰りは地下鉄に乗った。  
オツカレサマ！

スカウトバザー

日時：6月13日(日) 午前10時～午後2時

場所：カトリック南山教会

内容：模擬店、喫茶、委託品、缶詰、手芸品 掘り出し市 等

名古屋第97団

カトリック教会のカテキズムより

1602 「聖書は神に似せて造られた男と女の創造の話

で始まり、「小羊の婚宴」(黙示録19・9)の話で終わります。そして、聖書の初めから終わりまで、結婚とその神秘、その制定と神がその結婚に与えられた意義、その起源と目的、救いの歴史の流れの中で成就されていくその多様な姿、罪ゆえに生じたその困難さ、キリストと教会との新しい契約の中で「主に結ばれている」(1コリ7-39)者との復旧などについて語っています。」

1604 「愛によって人間をお造りになられた神は人間を愛へとお招きになられましたが、これはすべての人間に内在する根本的な召し出しです。人間は「愛である」(1ヨハネ4, 8-16参照)神にかたどり、神に似せて造られたからです。神が人間を男と女とに造られたので、男女の相互愛は、人間を愛される神の絶対で不滅の愛を映し出すものとなります。この相互愛は創造主の目にはよいもの、きわめてよいものなのです。神によって祝福されたこの愛は、子供を産み、被造界を維持する共同の働きを行うことを目指しています。「神は彼らを祝福していわれた。『産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ』(創世記1, 28)」

# 南山句会

平成二十二年三月三日



春めきて八十路の坂に鳥の声

つちふ  
霾れば蔵書の塵を拭ひけり

梅万蕾修女の逝きし蒼穹に

盆梅や歴史を刻む八十年かな

裏戸から気易く訪ひ花の種

来しメール返すメールや弥生月

白梅や病者に午後の黙想会

春泥をたくみにかはし新車ゆく

光受け光を放つ樟若葉

身と鞆小さくして待つ春巡礼

ひし餅に兎の食みし跡雛飾る

色なき庭にほんのり梅香る

窓引きて我家のあたり春霞

毎月第一水曜日午後一時半  
マリア館一階集会室

とく子 ひろし 義子 瑞子 のぼる 幸男 さち子 洋子 美恵子 せつ子 紀子 光子 蓉子

## 信者の消息

### 受洗

おめでとうございます

マリア	NGUYEN THI LIEU	ラファエラ	荒川 祐里子 (あらかわゆりこ)
アウグスティヌス	伊藤 公一 (いとうこういち)	モニカ	伊藤 美栄 (いとうみえ)
マリエッタ	伊藤 杏華 (いとうきょうか)	アーノルド	上野山 和成 (うえのやまかずしげ)
クリストフォルス	大橋 哲 (おおはしさとし)	ベルナデッタ	柴田 由美子 (しばたゆみこ)
マリア・テレサ	菅原 美智子 (すがわらみちこ)	リーマの叫	崔 仁蕙 (ちえ いんへ)
イザヤ	南館 欣也 (なんかんきんや)	ヘレナ	南館 敬子 (なんかんけいこ)
マグダラのマリア	山田 陽子 (やまだようこ)	マリア・フランシスカ	加藤 寿弥代 (かとうすみよ)
マリア・グライア	松原 由美子 (まつばらゆみこ)	フランシスカ	朴 玉花 (ぱく おくふあ)

## 2010年4月・5月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
4月	1(木) 聖木曜日(主の晩餐) 2(金) 聖金曜日(主の受難・大斎・小斎) 3(土) 聖土曜日 4(日) 復活の主日	3(土) 19:00 復活の徹夜祭・洗礼式 4(日) 復活祭パーティ	9(金) マリア会例会(懇談会) 11(日) 運営委員会 11(日) 教会学校始業式 17(土) 14:30 子ども部屋 18(日) 典礼委員会 24(土) 要約筆記付きミサ	1(木) 聖香油ミサ 25(日) 信徒協委員総会 25(日) 正義と平和「炊き出しバザー」 29(水) 宣司評総会
5月	聖母の月 16(日) 主の昇天 23(日) 聖霊降臨の主日 30(日) 三位一体の主日	(決算書の承認) 9(日) マリア祭の聖母行列(母の日) 30(日) 日英合同ミサ(9:30) 30(日) 教会美化決算書提出	2(日) 運営委員会 7(金) マリア会例会(懇談会) 9(日) ヨセフ会班長会 15(土) 10:30 子ども部屋 16(日) 典礼委員会 16(日) 教会学校遠足 22(土) 要約筆記付きミサ 23(日) 信者全体集会	3(日) 召命祈願日 17(日) 世界広報の日 献金日 20(木) 司祭協議会 24(日) わだち祭り 24(日) 建設共同基金総会